



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	株式会社日本ベルト工業工場新築工事	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.2	/5		ふつう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9	/5		がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.9	/5		がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.6	/5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例		
			よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		得点		
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		<b>3.2</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①ダブルスキンの採用による開口部の温熱環境の向上。</li> <li>②ライトシェルフの採用。</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤敷地内既存大景木の建物廻り再配置により外構緑地指数50%以上を確保した。</li> <li>⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。</li> </ul> </li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ダブルスキンによる高断熱化。</li> <li>⑧自然通風、ライトシェルフによる自然エネルギーの利用。</li> <li>⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。</li> <li>⑩BEMSの導入によるエネルギー管理。</li> </ul> </li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑪雨水利用設備の導入による雨水の有効利用。</li> <li>⑫地下躯体部分における高炉セメントの採用。</li> <li>⑬不活性ガス(CO2)消火設備の導入。</li> </ul> </li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤敷地内既存大景木の建物廻り再配置により外構緑地指数50%以上を確保した。</li> <li>⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。</li> </ul>		Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ダブルスキンによる高断熱化。</li> <li>⑧自然通風、ライトシェルフによる自然エネルギーの利用。</li> <li>⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。</li> <li>⑩BEMSの導入によるエネルギー管理。</li> </ul>		LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑪雨水利用設備の導入による雨水の有効利用。</li> <li>⑫地下躯体部分における高炉セメントの採用。</li> <li>⑬不活性ガス(CO2)消火設備の導入。</li> </ul>		LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 2.1.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.1.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.1.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.1.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.1.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.1.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒	
<ul style="list-style-type: none"> <li>⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善</li> <li>⑭省エネルギー対策と、高炉セメントの採用。</li> <li>⑮外構の全舗装面に保水性ブロックを採用した。主風向に対する見付面積比を50%以下とした。</li> </ul>		LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善		
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		<b>2.9</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑰制振装置の採用。</li> </ul> </li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑰制振装置の採用。</li> </ul>			
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		<b>2.9</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑱バリアフリー法誘導基準相当の計画とした。</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>㉑街並みに配慮し、木材等自然素材を活用した外装とした。</li> </ul> </li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>㉑街並みに配慮し、木材等自然素材を活用した外装とした。</li> </ul>			
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		<b>2.6</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/⑶まちなみ・景観への配慮/④敷地内温熱環境の向上)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑵敷地内既存大景木の建物廻り再配置により外構緑地指数50%以上を確保した。</li> <li>⑶緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 (⑸温熱環境悪化の改善)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑸外構の全舗装面に保水性ブロックを採用した。主風向に対する見付面積比を50%以下とした。</li> </ul> </li> </ul>	Q-3 1 ⑵ 生物環境の保全と創出 2 ⑶ まちなみ景観への配慮 3 3.2 ④ 敷地内温熱環境の向上 LR-3 2 2.2 ⑸ 温熱環境悪化の改善			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑸外構の全舗装面に保水性ブロックを採用した。主風向に対する見付面積比を50%以下とした。</li> </ul>			